

第6回 にほんごで話そう！日本語スピーチ大会

発表者： 松永 エクセル

出身国・ルーツ： フィリピン



発表者の出場コメント：

日本で苦労したことや感動したことを、みなさんに伝えることができるようがんばります。

推薦者コメント： 【大和市立光丘中学校国際教室担当 富樫勇治先生】

本人が日本に来て感じたことや、頑張ったことを一生懸命まとめました。

スピーチタイトル： 「日本について思うこと」

私はフィリピンからきました。そして初めて日本の学校で勉強することになりました。日本で始めて通うことになった小学校は横浜市にある「南吉田小学校」です。小学校で生活する中でわからないことがありました。それは漢字の読み書きや意味などです。だからぼくは夏休み中ずっと国際教室で勉強しました。

小学校5年生の後期の授業が始まると漢字やひらがなの意味がちょっとだけわかるようになりました。だから授業中に友達にアドバイスをしてくれる内容がわかるようになってうれしくなりました。国際教室での勉強もたのしくなり、もっと日本語がわかるようになりたいと思うようになってきました。僕のクラスにフィリピンから転校生がやってきました。僕は

転校生に学校案内ができるまでになったことを今でもよく覚えています。

6月になると運動会が開催され私は赤組に入りました。すごく印象に残っている種目は青組、赤組、白組の色別対抗リレーです。なぜ印象に残っているかという、赤組のリレーが1位になるために放課後一生懸命練習したからです。最初は、みんなリレーの練習を嫌がっていましたが、練習を繰り返すうちに、1位になりたいという気持ちが強くなりました。僕はこのような練習に参加しチームの団結力に感動しました。

私はもっと日本について知りたいと思いました。私は小学校5年生の頃から日本のアニメのキャラクターの絵を書いていました。まだ、アニメ登場人物が何を話しているかわかりませんでした。小学校6年生に

なると日本語の意味もわかってくるようになり、いままではテレビの画面の登場人物の動きを見て、物語りを予想していましたが、日本語が分かるようになるにつれて、物語の深い意味が理解できるようになり、日本のアニメがますます好きになりました。

ここで私の好きなマンガの中で使われている好きな言葉を紹介します。

天野明著「RE BORN33」より

- ①「まだまだ自分に足んね一部分ばかりだから」②鍛えて③背伸びして④策をめぐらす

・主人公の獄寺君の言葉より。
これら4つの言葉を私なりに解釈しますと、私は、ときどき日本語が理解できたふりをしてしまいますが、私にはまだまだ足りない部分がたくさんあるので、体や心をきびしくトレーニングして、いろいろな角度から物事が考えられるようになって、日本語を話していきたいと思います。また日本語ひとつひとつの意味をもっとよく勉強して、人々に感動を与えることのできるマンガ家になるために努力をしていきたいと考えています。

来場者・発表者からの応援メッセージ：

- ・日本語をもっと勉強して、マンガ家になってください。
- ・自分の考えをよく述べていました。
- ・とても正直に心の中を話してくれましたね。
- ・マンガ家を目指しているのですか？描いたマンガもあつたら、少し見たかったです。
- ・よく頑張ったね！
- ・日本語をがんばって、たくさんの言葉を覚えて、マンガ家の夢が実現できるといいですね。
- ・とても前向きな考えを持っていて、素敵です。（いそやま）
- ・あなたの名前が出版されるといいですね。頑張ってください。
- ・日本人でもわからない日本語もたくさんあります。それを自分のものにしようとする松永さんは素晴らしいです。そのまま続けてください。（きのした）
- ・日本のアニメから日本語の学習につなげて、しっかり実力を身につけましたね。多角的に学習方法も素晴らしく、人気の漫画家になれそうですね！
- ・日本語の勉強これからもがんばって！